

Funeral Report

地元エネルギー業界の 先駆者を讃える9.5間祭壇

故 佐々木福德 お別れの会



斎苑別館2階のエターナルホール(献花会場)に設営された間口9.5間の生花祭壇

日時	2019年11月21日(木) 11時00分～13時00分
場所	仙台迎賓館 斎苑 (仙台市青葉区)
故人名	佐々木福德(株式会社新商店、白ゆり商事株式会社取締役会長) 2019年10月22日死去(90歳9か月)
式形態	無宗教献花方式
祭壇形式	生花祭壇
会葬者数	約300人
主催者	佐新商店(仙台市青葉区) 白ゆり商事(仙台市青葉区)
施行・生花業者	清月記(仙台市宮城野区)

- 祭壇データ**
- ▶祭壇サイズ
間口17.2×高さ3.4×奥行2.4m
 - ▶使用花材 / スプレーギク2,000本、白ギク1,700本、バラ1,300本、コギク100本、コチヨウラン40本、ロベニー600本、ドラセナ50本
 - ▶制作時間 / 3人で5時間
 - ▶撮影サイズ / 幅1.2×高さ1.5m

宮城県の仙台市や名取市で佐新商店、白ゆり商事の2社を創業し、地元のエネルギー業界などに多大な貢献をした佐々木福德氏が2019年10月22日に亡くなり、同11月21日に「仙台迎賓館 斎苑別館」(仙台市青葉区)で、お別れ会がとり行なわれた。10月25日には、近親者のみで葬儀を営んでいる。

故人は1929(昭和4)年に名取市に生まれ、61年に燃料・灯油などを販売する佐新商店を、翌62年には、当時最先端のプロパンガスを販売する白ゆり商事を設立した。お別れ会はこの2社の主催である。

故人は先見の明と実行力を持ち、常に変革を求め人柄で、対外的にも、名取市議会議員や宮城県漁業協同組合副会長、名取市公害対策審議会委員などを歴任。後年、その功績が認められ、黄綬褒章や勲五等瑞宝章を受章している。

「多大なる功績を残した故人を立派に送りたい」という主催者の要望から、清月記では、大型葬にふさわしい仙台迎賓館 斎苑別館を最大限に活用した。

バラとキクの赤白を対比させた間口9.5間の生花祭壇と、高さ3m、横幅8mの装飾幕を設営。また、2階式場に向かう通路に配置したメモリアルコーナーには、写真パネルや勲章・勲記を飾ることで、故人の功績と人柄を偲ぶ空間とした。

当日、ピアノとチェロの二重奏が出迎えたお別れ会は、黙祷からはじまり、思い出のDVD上映、3人のお別れの言葉、弔電奉読、献花、謝辞へと進んだ。

終了後は、献花会場隣に設けられた会食会場で清月記グループの「一乃庵」の料理が立食形式で振る舞われた。

親族、主催2社の社員、一般参列を合わせて、約300人が参列したお別れ会となった。



メモリアルコーナーには、故人の写真や経歴、勲章・勲記などが飾られた



佐新商店代表取締役社長佐々木ひで子氏(右)と、白ゆり商事代表取締役社長佐々木新一氏による代表献花



謝辞を述べる佐々木新一氏



終了後は、隣に設営された会食会場で一乃庵の料理を供した



ピアノとチェロの二重奏で参列者を出迎えた

式次第

- 開式
- 黙祷
- 思い出のDVD
- お別れの言葉
- 弔電奉読
- 献花
- 謝辞
- 閉式



エントランス前に設置された縦型と横型の門標

